

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 姉妹都市小中学校交流事業補助金
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	2	姉妹都市交流の推進
事務事業番号	005	事務事業コード 62112005 事業開始年度 平成 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	姉妹都市小中学校交流事業補助金
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 姉妹都市小中学校交流事業実行委員会
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 歴史的にゆかりのある相互のまちを理解し、学校間の交流を推進するとともに、友好を深めることを目的として、児童生徒の派遣・受入れを行っている姉妹都市小中学校交流事業実行委員会に対し、運営を支援するため補助金を交付する。 《事業内容》 ・ふるさと豆記者交流事業 ～ 小学生10名が2泊3日の行程で相互に姉妹都市を訪問。 平成21年度は、幌別西小学校・幌別東小学校からそれぞれ5名ずつの児童が白石市を訪問。 ・ふるさとのまちを語る交流事業 ～ 中学生2名が2泊3日の行程で相互に姉妹都市を訪問。 平成21年度は、1泊2日で白石市の中学校2校から2名の生徒が登別市を訪問。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 姉妹都市への認識と理解を深め、交流の推進が図られる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	参加児童生徒数	人	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	661	505	0	0	0	0
合 計				661	505	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	165	173			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		165	173			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 姉妹都市について学習する機会は限られており、市が本事業により補助を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 普段あまり意識したことが無い姉妹都市について、体験を通じ学習する機会となっている。また、姉妹都市との対比により、登別市を見直す機会にもなっている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 訪問及び受入れ前後に、姉妹都市に関する情報を周知すること等により、姉妹都市への理解を深める。 姉妹都市についての学習テーマを設定するなど、学習方法を検討する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 補助の大部分は、訪問経費となっており、これ以上の削減は、参加児童生徒数の減少など事業の縮減をまねく恐れがある。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	児童生徒が姉妹都市への理解を深め、交流を深めるために必要な事業である。
-----------	----------------------	-------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）